

# グリーン購入法適合品、エコマーク認定商品一覧と活用法

## ●グリーン購入法適合品、エコマーク認定商品一覧

2017年1月現在

区分	商品名	掲載ページ	CASBEE LR-2.4.4 対象商品	グリーン購入法 適合品	エコマーク 認定商品	エコマーク 認定番号
ビニル床タイル	Pタイル(クラシック、モダンのみ)	46	●	●	●	10 123 001
	ピサロコリンズ	52	●	●		
	ニューソフトン	54	●	●		
	バルティ	56	●	●		
	ドルチェ	60	●	●		
	ドルチェクローマ	62	●	●		
	ナチュラルイン	64	●	●		
	バサージュ	65	●	●		
	テラーノ	66	●	●		
	ウッドクラフト	70	●	●		
	モルタライク	72	●	●		
	モノシュタイン	73	●	●		
	ジニアス プレーン	74	●	●		
	ジニアス マーブル	76	●	●		
	ウッドライン	80	●	●	●	10 123 007
	マティル	88	●	●	●	10 123 006
	マッキレーネ	96	●	●		
	カルラージュ	100	●	●		
カルラージュメタル	100	●	●			
ブランシュ	101	●	●			
CRタイル	102	●	●			
ビニル床シート	パーマリュウム	112	●	●		
	パーマリュウム マーブル	114	●	●		
	パーマリュウム モンテ	116	●	●		
	パーマリュウム フィラール	118	●	●		
	パーマリュウム ピエトラ	120	●	●		
	パーマリュウム ストリート	121	●	●		
	パーマリュウム マーブルEM	122	●	●		
	マジェスタ	124	●	●		
	飛白	134	●	●		
	スーラスプリンSEM	136	●	●		
消臭ウェルクリーン	138	●	●			
カーベットタイル	タビス セレクトII・エコ	172	●	●	●	12 123 012
	レイフラットタイルLF-3000	216	●	●	●	10 123 008
	レイフラットタイルLF-3000 セルフタック	219	●	●		
	レイフラットタイルLF-5000	220	●	●		
	レイフラットタイルLF-5000 セルフタック	221	●	●		
	レイフラットタイルLF-2000	222	●	●	●	10 123 008
	耐薬レイフラットタイルLF-9000	223	●	●		
	ビュージスタ PLUS省音やすらぎ	236	●	●		
	ビュージスタステップ VLT	237	●	●		
	ビュージスタステップ VST	238	●	●		
	SRシート4300	246	●	●		
	SRシート2800	247	●	●		
	タイヤクフロA・グラン	258	●	●		
	タイヤクフロA・MD II	259	●	●		
	セイデンフロア	262	●	●		
	セイデンタイルC	263	●	●		

### <グリーン購入法適合品、エコマーク商品の活用>

官公庁のグリーン購入、民間のグリーン購買及びCASBEE評価向上のため、ぜひこれらの対象商品の採用をご検討ください。

## ●グリーン購入法適合品、エコマーク認定商品の活用法

これら制度における当該床材に対する認定基準は、「製品配合中に、流通している“再生塩ビ樹脂”を規定量以上用い、“石油由来の新規原料の使用”を抑える」という事項で審査されます。そもそも床材は電気製品やガス器具などのようにその設備の使用時に何らかのエネルギーを消費する訳ではないため、製造段階で省資源を配慮した商品であることを確認することで環境保全に貢献するスタイルとなります。

認定取得商品の活用法としては、これらをご採用いただいたお施主様、ご採用いただいた建物が、環境負荷低減への配慮、姿勢を取っていることを、消費者、市民に対し公的に表明できることこそがご採用いただく一次的な効用となります。併せてその建築物の環境配慮の程度の公的指標となる“CASBEE評価”を受ける際にも加点に貢献するというのが二次的な利点になると考えております。

## ●CASBEE評価への寄与

建築業界におけるサステナビリティ（持続可能性）評価は複雑で馴染みにくく、情報を提供する側の恣意のもと勝手に宣伝されては、消費者は公正な比較ができません。この対策として“建物の設計思想に環境への配慮、快適性をルールに基づき組込んでください。そうしたらその建物に対し、LCA※1に基づき公的な評価を与えます。”というのがCASBEEのあらましと言えるでしょう。

主に建物の設計思想、快適性追求に対する環境や資源への負荷減少への配慮、エネルギー浪費管理に係る項目が占めています。そのため内装材、特に床材がこれに貢献できる範囲は極めて少ない仕組みです。少ないながらも当社では、30弱あるCASBEEの評価項目に照らし、下表のような見方ができると考えております。

※1 LCA: Life Cycle Assessment

## ■CASBEE

評価分野	評価項目	解説		対象
		評価内容	用途	
Q1. 室内環境	1.音環境 1.3吸音	内装材による室内の吸音のしやすさを評価。	レベル3 壁、床、天井のうち一面に吸音材を使用している。 レベル4 壁、床、天井のうち二面に吸音材を使用している。 レベル5 壁、床、天井に吸音材を使用している。 ※床:吸音材の使用面積が7割以上有すること。	カーペットタイル
	4.空気質環境 4.1発生源対策	化学物質による空気質汚染を回避するための対策が充分にとられているかを評価。	レベル4 建築基準法規制対象外となる建築材料(告示対象外の建材およびJIS、JAS規格のF☆☆☆☆)をほぼ全面的(床・壁・天井・天井裏の面積の合計の70%以上の面積)に採用している。 レベル5 建築基準法規制対象外となる建築材料(告示対象外の建材およびJIS、JAS規格のF☆☆☆☆)をほぼ全面的(床・壁・天井・天井裏の面積の合計の90%以上の面積)に採用している。壁、床、天井に吸音材を使用している。さらにホルムアルデヒド以外のVOCについても放散量が少ない建材を全面的に採用している。	ビニル床タイル ビニル床シート カーペットタイル 腰壁材 接着剤類
Q2. サービス性能	1.機能性 1.3維持管理	建築物の設計時に構造選択や建材選択において維持管理に配慮すべき内容について評価。	レベル2からレベル5 評価する取組みにおいて該当する項目数により異なる。(取組み数は、全体で12評価内容) ※内装仕上げ:床面は防汚性の高い建材、塗装、コーティングを採用している。 ※内装設計:床面は水を使用して洗浄可能な設計・構造を採用している。 ※内装設計:内壁や床面において設計上ホコリの溜まりにくい設計や物を置かない設計を採用している。	カーペットタイル ビニル床タイル (UV塗工品) ビニル床シート (UV塗工品)
	2.耐用性・信頼性 2.2.3主要内装仕上げ材の更新必要間隔	主要内装仕上げ材の更新必要間隔「内装仕上げ材の張り替えもしくは表面部材の交換などについての必要間隔」とし、その長さを評価。	レベル5 20年以上 ※補助資料:床:塩ビタイル、ビニル床シート、カーペットの耐用年数20(官庁営繕)	ビニル床タイル ビニル床シート カーペットタイル
LR2. 資源・マテリアル	2.非再生性資源の使用量削減 2.4非構造材料におけるリサイクル材の使用	非構造材料におけるリサイクル材の使用状況を評価。	レベル3 リサイクル資材を1品目用いている。 レベル4 リサイクル資材を2品目用いている。 レベル5 リサイクル資材を3品目以上用いている。 ※リサイクル資材:グリーン購入法特定調達品目、エコマーク認定商品、「エコマーク商品」と「特定調達品目」の両方に認定されている場合は、1品目とする。	エコマーク認定商品 グリーン購入法適合品
	2.非再生性資源の使用 2.6部材の再利用可能性向上への取組み	建物のライフサイクルの終局点である解体廃棄時におけるリサイクルを促進する対策として、分別容易性などの取組みについて評価。	レベル4 解体時におけるリサイクルを促進する対策として評価する取組みを1ポイント以上実施している。 レベル5 解体時におけるリサイクルを促進する対策として評価する取組みを2ポイント以上実施している。 ※1ポイント:躯体と仕上げ材が容易に分別可能になっている。	レイフラットタイル カーペットタイル
	3.汚染物質含有材料の使用回避 3.1有害物質を含まない材料の使用	室内空気質だけでなく広く環境影響を及ぼす可能性のある化学物質の使用削減を評価。	レベル4 化学物質排出把握管理促進法の対象物質を含有しない建材種別が1つ以上~3つ以下ある。 レベル5 化学物質排出把握管理促進法の対象物質を含有しない建材種別が4つ以上ある。 ※分類:接着剤:ビニル床タイル・シート用接着剤、床仕上げ:床仕上げワックス。評価の際には、SDSを用いることを原則とするが、実際には評価対象とすべきが判断が難しい場合も考えられる。	接着剤類

※評価対象の適否は当社の判断です。正式には所轄自治体等の判断基準によります。

■評価結果:評価項目ごとの採点を重み係数で加重し、分野別の総合得点を算出します。建築物の環境効率(BEE)は建築物の環境品質(Q)を建築物の環境負荷(L)で除して求められます。環境品質の値が大きく、環境負荷の値が小さい方が、環境効率が高い結果となり、高評価となります。BEE値によるランク付けは、C(★、Poor:劣る)からS(★★★★、Excellent素晴らしい)の5段階で表現されます。

■S D S:安全データシート(Safety Data Sheet)と呼ばれるもので、「化学物質又はそれを含有する製品」を他の事業者へ譲渡又は提供する際に、製品の特性及び取扱いに関する情報を事前に提供するものです。同様なものに、成形品の化学物質情報伝達シートとしてのAIS(Article Information Sheet)があります。